

新旧対照表

ページ番号	意見	見直し前	見直し後
本編 23 ページ 管きよの改築・更新	維持管理に関する記述を充実させること	カメラ調査を約 350 km 実施し、そのうち劣化・不具合などの影響で緊急度の高い約 90 km について、管きよの改築を実施してきました。	点検については、布設後約 20 年を迎えた路線を地表面からマンホールの中を覗く目視点検を約 1,300 km 実施し、カメラ調査は、 <u>布設後約 40 年以上を経過した管渠について、毎年約 32 km を実施し、約 350 km の管渠を調査しました。</u> そのうち劣化・不具合などの影響で緊急度の高い約 90 km について、管きよの改築を実施してきました。
本編 44 ページ 概要版 10 ページ SDGs	基本方針Ⅲを SDGs に関連付けすること	(記載なし)	【ゴール 17: パートナリシップで目標を達成しよう】 施策Ⅲ-2 官民連携の推進 施策Ⅲ-5 広報による理解の促進 を関連付け
本編 76 ページ 温室効果ガス排出量 削減率	削減率の対象が不明	取組 1 省エネルギー機器の導入 設備の老朽化等による機器の更新にあたっては、効率がよく省エネ性能が高い機器を導入していくことで、電力消費量の削減に努めます。 取組 2 再生可能エネルギーの活用 浄化センター・ポンプ場において、太陽光発電設備の導入によるエネルギーの活用に取り組み、電力消費量の削減に努めます。	取組 1 省エネルギー機器の導入 設備の老朽化等による機器の更新にあたっては、効率がよく省エネ性能が高い機器を導入していくことで、電力消費量の削減に努めるほか、 <u>下水施設から排出される温室効果ガス排出量を、2013(平成25)年度比で 16%削減します。</u> 取組 2 再生可能エネルギーの活用 浄化センター・ポンプ場において、太陽光発電設備の導入によるエネルギーの活用に取り組み、電力消費量の削減に努めるほか、 <u>下水施設から排出される温室効果ガス排出量を、2013(平成25)年度比で 16%削減します。</u>

ページ番号	意見	見直し前	見直し後
本編78ページ 温室効果ガス排出量 削減率	削減率の対象が不明	下水汚泥の固定燃料化など下水汚泥を資源利用するため、南部浄化センターにおいて、汚泥有効利用施設を導入します。	下水汚泥の固定燃料化など下水汚泥を資源利用するため、南部浄化センターにおいて、汚泥有効利用施設を導入します。 <u>また、汚泥有効利用施設を導入することにより、下水施設から排出される温室効果ガス排出量を、2013（平成25）年度比※1で16%削減します。</u> ※1 2013（平成25）年度の温室効果ガス排出量は、32,816 t-CO2で、容積にすると、東京ドームの13.5杯分に相当
本編90ページ 取組1 人材育成	労働安全衛生に関する意識が希薄	計画目標の達成に向け、業務を遂行するには、備えるべき職員の能力も求められます。また、その能力を職員が有しているかを正確に把握するとともに、職員の実績を記録・蓄積していくことも大切です。 そこで、組織の要求する能力の水準に基づく人材育成を実施することで、確実な事業運営を目指します。	計画目標の達成に向け、業務を遂行するには、備えるべき職員の能力も求められます。また、その能力を職員が有しているかを正確に把握するとともに、職員の実績を記録・蓄積していくことも大切です。 そこで、組織の要求する能力の水準に基づく人材育成を実施することで、確実な事業運営を目指します。 <u>また、業務を遂行していく上で、コンプライアンス教育の徹底や事故防止のための労働安全衛生教育を継続していきます。</u>